

4月4日、池田市立くれは音楽堂で豊能地区、公立学校初任者研修及び新規採用養護教諭研修、新規採用事務職員研修の開講式を行いました。当日は、小学校106名、中学校26名、新規採用者3名が出席しました。学校では新年度体制づくりの会議等が続く中、市町によっては午後からも研修ということで、大変忙しい一日だったと思います。

開講式では、事務局長の挨拶にはじまり、サービスの話、そして豊能地区の小中学校の先輩、能勢町立能勢小学校の梶谷先生、池田市立石橋中学校の山村先生のお二人からメッセージをいただきました。

- 社会人として、社会のルールを守ること、公務員としてサービスを守って職務遂行することの大切さを学び、身がひきしまりました。
- 初めは、不安で緊張して毎日を過ごされていたのだとほっとしました。特に、失敗されたお話が励みになりました。失敗しても周りの人に頼ってもいいのだと思いました。焦りや不安な気持ちもまだまだありますが、学年の先生や他の先生にたくさん相談させてもらいながら頑張ろうと思います。
- 子どもと向き合うこと、小さな変化も見逃さないことなど、子どもとの関わり方についてたくさん学ぶことができました。お話を聞き、「子どもにとって何が一番いいのか。」ということは常に大切にしていきたいことだと感じました。1年目だからこそたくさんの方に自分から挑戦して、学びの多い1年にします。

初任の1年間はこれからの教職生活の基盤となる基礎・基本を実践の中で学ぶ時期です。先輩方のように失敗を恐れず、日々の出来事の全てを成長の糧としてください。

☆信頼を創りだすコミュニケーショントレーニング☆

後半はコミュニケーショントレーナーの、せとぐちちか先生による研修でした。ペアワークを交えた演習では、自分自身のコミュニケーションの癖を知り、トレーニングすることで、今までと違ったコミュニケーションをとることができました。

「自己成長を促す」という言葉に多くの学びをいただきました。どちらかというとポジティブな方ですが、やはり心のどこかには、まず相手の目が気になる癖があります。「どう思われているかな?」「おかしくないかな?」このような考えが、自分のエネルギーをロスしていると気づきませんでした。似たような気持ちの子どもたちもたくさんいると思います。聴くことで安心感や心を開くきっかけになると教えていただいたので、始業式からは、聴くことに力を注ごうと思いました。

黙って聴くということが、相手が自分で考え、自分で答えを出すことにつながるという考え方は、私の中には今まで無かったものでとても新鮮でした。実際にやってみると相手が深い部分まで話してくれて、悩みに対する原因を話してくれていたように思います。子どもに関わる時にもまず聴くことを一番大切にしていこうと思いました。

ワークを通して、黙って聴くことの難しさを感じました。けれど、自分で原因や解決法を考えることこそが、これからは繋がり、それが成長と言えるのだと思いました。聴くことをもっと意識して、子どもとの信頼関係を築いていけたらと思います。

まず自分自身を見つめること、弱さを知ることが第一歩なのだと感じました。また、今は分からないことばかりで先輩のアドバイスをそのまま取り入れてしまっていることにも気づかされました。『人の意見は参考意見』とても心に響く言葉をいただけたと思っています。さらに、信頼関係を築くためにも聴くという姿勢の大切さにも改めて気づかされました。「それで?それから?」と聴くことで相手によりそい本当の気持ち、考えを聞き出せるよう努めたいです。

頭ではわかっているつもりでも、経験することで生きた学びとなります。日々の実践の中で、子どもたちや保護者とのコミュニケーションに悩み、また周りの人の意見が気になりすぎることもあると思います。そんなときこそ、今日の気持ちを思い出し、笑顔で相手の話を「聴く」ことのできる人を目指してください。